

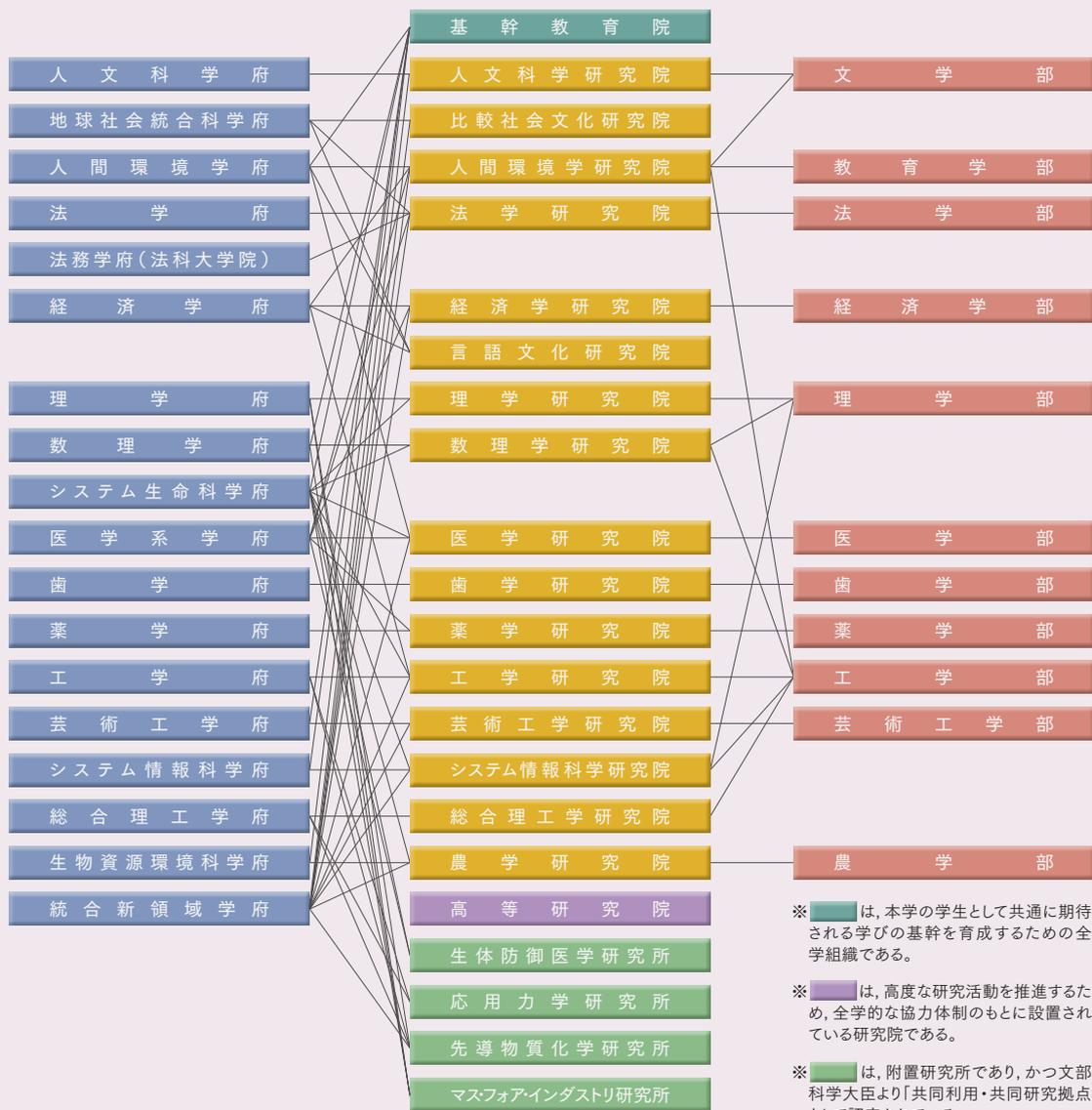
九州大学では、平成12年4月の「全学大学院重点化」(大学院に、より重点をおいて、教育研究組織を構成すること)の完了とともに、全国でも初めての「学府・研究院」制度を設けました。これは、大学院の教育研究組織である「研究科」を、大学院の教育組織としての「学府」(Graduate School)と教員の所属する研究組織である「研究院」(Faculty)とに分離して、相互の柔軟な連携を図るものです。^(図1)

大学院重点化に伴って、教員の所属は従来の学部から大学院に移り、さらに大学院を教育組織と研究組織に分離することにより、学府・学部教育への研究院の枠を超えた教員の多様な参加が可能となりました。^(図2) また、教育・研究双方の組織をそれぞれの必要性から独自に再編することが可能となりました。



図 2

■ 学府・研究院・学部の編成



※ は、本学の学生として共通に期待される学びの基幹を育成するための全学組織である。

※ は、高度な研究活動を推進するため、全学的な協力体制のもとに設置されている研究院である。

※ は、附置研究所であり、かつ文部科学大臣より「共同利用・共同研究拠点」として認定されている。

- 歴任総長／運営組織
- 役員等／経営協議会委員
- 教育研究評議会評議員
- 沿革
- 伊都キャンパスへの移転
- 学府・研究院制度について
- 大学の組織
- 部長等
- 教育研究組織
- 学生定員及び在籍学生数
- 入学状況
- 学位取得者数等
- 学部卒業・大学院修了後の進路状況
- 教職員数等
- 社会との連携
- 国際交流
- 収入・支出
- 研究プログラム及び教育プログラムの採択状況
- キャンパスマップ
- 土地・建物
- 諸施設
- 案内図